

江戸川の流れに

歴史への想いを馳せて

観光地としても見どころ満載の野田市。野田地区には明治以降の醤油産業に
関連した多くの史跡があり、一方、関宿地域には、江戸時代に川関所として栄えた
名残りが数多くあります。「むらさきの里 野田ガイドの会」の
ボランティアの中で唯一、関宿地域に在住している芝田栄太郎さんに、
地元のおすすめの場所を案内していただきました。

思い出深い江戸川

芝田さんは1年前に市内の醤油会
社を定年退職し、何かやりたいと思っ
て「野田ガイドの会」に参加しました。
地元では子ども会の会長、ボーイスカ
ウトの団委員長などを歴任し、毎年
10月開催の関宿城まつりの大名行列
で殿様役を務めたこともあります。

こうした顔の広さが、ガイドの仕事
にも大いに役立っているそうです。

「野田市は三方を川に囲まれた地
形。ここに住んでいると川を外しては
何も語れません。だれもが水辺の景
色に愛着を持っています」と語る芝田
さん。

東宝珠花のご実家から江戸川の土
手までは歩いて3分。自転車に乗った
り野球をしたりと、幼いころから河川
敷を遊び場に使っていたそうです。

「春になると土手のあちこちで、菜

の花、ヨモギ、ツクシ、ノビルなどが見ら
れます。菜の花はここ10年ほどで自然
に増えたのですが、堤防二面に黄色い
じゅうたんを敷きつめたようになる春
先は、とても美しい光景が広がります。」

最近、江戸川堤防のサイクリング
ロードがお気軽に入りの散歩コースです。

「川の眺めに加え、冬の晴れた日は

富士山や日光連山、赤城山や榛名山
などの山並みも遠くに望めます。ジョ
ギングをする人や散歩、自転車など、
だれもがすれ違うときにあいさつを
交わしてくれるのも、いいものですね」

宝珠花橋下の河川敷は関宿ふれあ
い広場として整備され、毎年8月第3
土曜日には関宿まつり花火大会の会
場になります。対岸の春日部市では、
毎年5月3日と5日に大風まつりが
開かれ、50畳もの大風が見ものだそ

うです。

「近くには長さ千500mの滑
走路を持つ、日本最大規模の
グライダー滑空場がありま
すし、水面ではカヌーでの川
下りなども盛んです。こう
した資源を、観光や集客に
活用できないかと皆で検討
しています」



むらさきの里 野田ガイドの会
芝田 栄太郎 さん

